

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2002-254843 (P2002-254843A)  
 【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)  
 【出願番号】特願 2001-386280 (P2001-386280)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 N 1/14  
 G 0 3 F 7/00  
 G 0 3 F 7/022  
 G 0 3 F 7/038  
 G 0 3 F 7/07  
 G 0 3 F 7/09

【F I】

B 4 1 N 1/14  
 G 0 3 F 7/00 5 0 3  
 G 0 3 F 7/022  
 G 0 3 F 7/038 5 0 5  
 G 0 3 F 7/07  
 G 0 3 F 7/09

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 3 日 (2004.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウェブ - もしくはプレート - 型支持体、支持体の前面上の放射線 - 感受性層及び背面上の顔料粒子 - 非含有連続層を有し、背面層が本質的に少なくとも 45 のガラス転移温度  $T_g$  を有する有機ポリマー材料から成り、その表面が 5 ~ 800 s の B e k k 平滑度を有することを特徴とするオフセット印刷版の作製のための記録材料。

【請求項 2】

有機ポリマー材料が熱及び / 又は UV 線の作用により熱的に架橋されたポリマーであることを特徴とする請求項 1 に記載の記録材料。

【請求項 3】

背面層がその表面上に縦もしくは横の溝から成る構造を有し、ここで互いに対する R a 値の比率が好ましくは少なくとも 5 であり、互いに対する R z 比の比率が好ましくは少なくとも 6 であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記録材料。

【請求項 4】

背面層の構造が方向 - 依存性であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の記録材料。